

入賞  
おめでとう

受賞のことば

科学部門

文部科学大臣賞  
低学年の部

島根県雲南市 大東小学校

小山真由子さん

わたしは、1年生の時からふしぎに思ったことを調べていますが、今年研究した「傘のけんきゅう」で、文部科学大臣賞をいただくことができ、びっくりしたのと同時に、とてもうれしかったです。賞をいただけると聞いた時には、研究の様子を思い出しました。この研究は、じゅんぴが大変でした。油を使いましたが、油を和紙にぬってもなかなかかわかず、実験が始められませんでした。また、外でかわかしました。外に出したり小屋に入れたり、天気を見ながらかわかすのも大変でした。柿しぶは、手につくところにおいて消えなかったり、色が落ちなくなったりしたので、しんちょうに使用しました。水をくりかえしかけるやぶれにくさの実験では、えごま油と柿しぶをぬった物は、まったくやぶれる気配がなく、2日かけて実験を続けなければいけません。20回水をかけてもやぶれなかった時には、2つのざいりようはすごいと思えませんでした。

1/2

だから実験の終わりごろには、えごま油と柿しぶの2つがすぐれていると思っていました。しかし、剣山を落とすやぶれにくさの実験をして、「30cm上から落としてもやぶれない」というだんこの結果を出したえごま油が傘にするのに一番よいということが分かりました。この結果が出た時には、いろんなじょうけんで実験することが大事なんだなと感じました。

研究は、いろいろなじょうけんから、見方をかえてみることで、結果がはっきりするんだなあと思いました。今年はらしゅるいのざいりょうでしか実験をしなかったので、ちがうざいりょうや和紙のしゅるいなどをかえて調べてみるのもやってみたいと思っています。研究は、知らなかったことが分かるとてもおもしろいものだと思います。今回賞をいただいて、わたしの調べ方は正しいんだなと自信になりました。これからもいただいた賞をはげみに、研究を続けていきたいと思っています。

入賞  
おめでとう

受賞のことば

科学部門

文部科学大臣賞  
高学年の部

島根県出雲市 四絡小学校

片岡 桓人さん

文部科学大臣賞の知らせを聞いた時は、とても驚き、体じゅうが熱くなりました。周りにいた先生方からもどっと歓声があがり、ほく自身も職員室ではふだん出さないような大きな声を出してしまうほどうれしかったです。長年つきあってきたダンゴムシ・ワラジムシに、防カビ・防悪臭効果があるのでは？と気付いてから約一年半。それを検証する方法がなかなか見つからず、また、仮説を立てただ液が出ていくかどうかさえも確認する方法が見つからず、ずっと試行錯誤を繰り返して失敗の連続でした。もうあきらめかけていた時、出雲科学館や出雲高校の先生方にヒントをもらったおかげで、一気に方針が立ちました。特に、火をたくと半径1メートル以内には雑菌がいなくなることや、だ液には酵素が含まれていることを初めて聞いた時には、科学者ってすごいな、と仲間入りしたくなりました。そして実験と記録を始めましたが、想像以上の苦労がありました。例えば無菌培地を作

る時には、真夏の暑さの中で閉め切った部屋で完全防備服で圧力なべやコンロの火をガンガンにたいていたので、この上ない暑さだっ  
たし、やけどもして、毛がこげました。でも  
培養後のカビの個数が見た目にも明らかに違  
ってきて、早く数えたくてワクワクしました。  
さて次はカビの数を数えてグラフに表そうと  
したのですが、カビのコロニー数を数えるの  
はものすごく根気のいる作業で、目が疲れ、  
黒い字が緑に見えたりもしました。でも、個  
数を記録していくたびに、比較用との差がは  
っきりと区別できていくので、辛くても頑張  
って数え続けました。そして完成した時には、  
よっしゃ！説得力あるぞ、と確信しました。  
今までこの研究でお世話になった方々、そ  
して一番大変だったであろうダンゴムシ・ワ  
ラジムシたちに、とても感謝しています。お  
かげでダンゴムシ・ワラジムシに益虫の面が  
あるといえたので、「害虫扱いしないで！」  
と声を大きくして言えるようになりました。